日 時 令和7年5月21日(水) 18時30分 ~19時30分

場 所 尾崎多目的研修集会施設

対象地区 尾崎

参加人数 18名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○側溝のごみ処理について (市民から) 山からのごみや葉で側溝が詰まってしまい、所有している園地に流れてくる。側溝は舗装が被さっており、側溝内に入り処理することが不可能なため、市で対処できるか。</p> <p>(市から) ・舗装が被っている、蓋が固定されている側溝で町会で対処できないものは、建設課に相談していただき、現場を確認したうえで対応の仕方を検討していく。</p>
<p>○ため池について (市民から) ため池につながる水路の土砂が2箇所崩れており、危険なため修復してもらえないか。</p> <p>(市から) ・尾崎地区のため池廃止に向け、事業検討を進めている途中であるが、事業化までは時間がかかるため、事業開始まではため池の水路の補修は使用者で行っていただきたい。しかし、対処ができないものは、現場確認した後、活用できる補助事業を検討していく。</p>
<p>○空き家から伸びる雑木の処理について (市民から) 空き家の立木が伸びてしまい、伐ることが大変なため、市で対応してもらえないか。</p> <p>(市から) ・所有者がいる空き家の雑木を市で伐採することは不可能である。しかし、空き家に関する法律が改正され、敷地からはみ出している部分については、利害関係者として申請すれば伐採できることとなったので、活用していただきたい。 ・以前より、所有者へ手紙を出しているため、所有者からの返事が返ってきているか確認し、後日お知らせする。</p>
<p>○白岩森林公園の管理について (市民から)</p>

浅井川周辺の木に藤が絡まっており処理したいが、市からもらっている白岩森林公園指定管理料を使用して処理できるものか。

(市から)

- ・白岩森林公園管理料を使用可能か否かは図面及び現場を確認したうえで、回答する。

○倒木処理について

(市民から)

白岩森林公園付近の道路や作業道など尾崎地区では倒木の危険性がある木が多くある。そのため、管理の仕方等ご指導いただきたい。また、倒木や土砂崩れの処理も引き続きお願いしたい。

(市から)

- ・場所によって、市で対応が必要なため、場所を確認したい。
- ・定期的に市の担当で林道を巡回し、危険性のある場所は事前に把握するようにしている。また、危険性が高い場所があれば農林課まで教えていただきたい。

○ねふたの小屋の修理費について

(市民から)

ねふたの小屋が豪雪により、倒壊してしまい、撤去した。撤去費用等多くかかっているため、支援の拡充を検討していただきたい。

(市から)

- ・支援金の中に小屋の修理費を含めると他団体も支援しなければならず、困難である。
- ・ねふたの支援金はコロナ後も金額を下げずに提供している。そのため、共助の意味も含め町会で対処していただきたい。

○ねふたの大会補助について

(市民から)

ねふた小屋の撤去費は町会で対処するので、大会補助だけでも手厚くお願いしたい。

(市から)

- ・市担当課と商工会、ねふた会の連携を強めなければいけないと感じているため、検討に時間をいただきたい。

○農村公園の管理について

(市民から)

農村公園は子どもたちの遊びの場となっていて、指定管理を受けた町会が中心となって草刈りや樹木伐採の対応をしてくれている。しかし、枝が折れておいるなど、子どもたちにとって危険な場所があり、市内の他の公園でも管理者が気づかない危険な部分があるかもしれない。そのため、引き続き巡回等を行っていただき、子ども達の安全を守っていただきたい。

○防災無線について

(市民から)

防災無線が途中で途切れて聞こえないことがあるため、市でどのように聞こえているか確認して対処していただきたい。

(市から)

- ・現在防災無線の大規模改修を行っており、改修後改善されると思う。また、防災マップの裏表紙にテレガイドの記載があるため、確認していただきたい。
- ・経済部ではクマ情報を放送しているが、聞こえない場合は、平川市公式LINEや防災メールでも周知しているため、登録して確認していただきたい。

○山手に移住した方への支援について

(市民から)

現在、平川市の都市部に人口が集中しており、山手部分の人口が少なくなっているが、山手に移住してきた方への支援はあるものか。また、山手への集客はできるものか。

(市から)

- ・山手と都市部によって支援の差はないが、市内に移住して新築を建てた際の補助金はある。また、山手へ人を誘導する支援としては、田や中山間地は農家でないと家を建てることができないという制限があるが、農家でない方も家を建てられる制度がある。